

平成26年度第3回公立大学法人秋田県立大学経営協議会  
議事要旨

1 日時：平成27年3月4日（水）14：00～15：30

2 会場：メトロポリタン秋田3階「こまち」

3 出席者

（委員）

石田委員、澤田委員、三浦委員

小間理事長、野田副理事長、小林理事、小嶋理事、青木理事

（監事）

前田監事、熊田監事

（事務局）

澤田次長、佐藤SS、佐藤（寧）TL、前田S、須賀職員

4 議事

定款の定めにより理事長を議長として会議が開催された。

(1) 定款に基づき経営協議会の議を経る必要のある事項について

1) 平成26年度決算見込み

2) 目的積立金の執行状況

3) 平成27年度予算

4) 平成27年度年度計画

5) 主な規程の制定・改正

1)～5)について審議した。

ここまですを踏まえ、以下の意見や質疑があった。

- 企業や個人から大学への寄附収入を拡大する方法を考え、効果を明確にし、公表していく仕組みづくりを大学自らがすべきだと考える。高齢化社会を迎え、意義や税制上のメリットがあれば、手を挙げる企業や個人は多い。
- 国公立大学と私立大学が受け取る寄附の税制上の違いについて質疑があった。
- 寄附をお願いする大学の現在の姿勢や手法に問題がないか考える必要がある。

(2) 平成26年度第3回経営協議会（H26.3.5）以降の学内外情勢について

- 1) 卒業生・修了生進路状況
  - 2) 平成27年度入学者（学部・大学院）選抜状況
  - 3) 平成26年度内部監査実施報告書
- 1)～3)について報告を受けた。

5 その他

1) 入学志願者の確保に向けた取り組みについて

このことについて、以下の意見や質疑があった。

- 様々な推薦入試制度を採用することが、大学のレベルアップ等に寄与しているか質疑があった。
- 入学した学生を伸ばすことを重要と考える姿勢について賛同の意見があった。
- 女子学生の比率についての質疑があった。
- 愛知県出身の学生が多いことは、企業ニーズに応えた人材育成をしていることが評価されているものとする。秋田県内出身者30%が県との約束とのことだが、逆に県外から連れてきて秋田県内に就職して貰う方法を考えるべきではないか。
- 学生の入学から卒業までのデータ整理を進め、秋田県立大学の今後の存在意義を突き詰めて貰いたい。

6 その他

- 次回平成27年度第1回経営協議会は、平成27年6月26日（金）秋田キャンパスで開催することとした。
- 次回の経営協議会では、秋田県立大学の10年後を見据えた在り方や特徴の出し方等について意見交換をお願いしたい。

以上